



みかん農家の困りごと

傾斜面での農作業 農作物の鳥獣被害 農地後継者の不足

江田島柑橘研究会 | 広島県江田島市江田島町

瀬戸内海の温暖な気候に恵まれ、江田島ではみかんをはじめとした柑橘類が特産品です。みかんの花が咲き乱れる季節には、あたり一面がみかんの香りで満たされます。そんなみかんの生産者は高齢化が進み、昔ながらの生産方法や技術では、続けることが困難になってきました。

みかん農家の困りごと

傾斜面での農作業

江田島のみかんはたくさんの日光を浴びておいしく成長するため、斜面に植えられている。傾斜した農地を歩き来し、手入れや農薬散布・収穫を行わなければならない、これまでの人力に頼った方法では存続が難しくなっている。



農作物の鳥獣被害

自然豊かな江田島では、農作物を食い荒らす鳥獣被害も多い。イノシシ対策の柵を何重にも設置し、カラス除けなども高所部に講じているが、それらの設置作業に時間をとられ、みかんに対する作業に集中できていない。新たな対策を試したい。

農地後継者の不足

農地を管理する方々は高齢の方がほとんどになってしまい、次の担い手不足が課題になっている。肉体労働が多く、手入れにも手間がかかるため、IT やロボット技術などを駆使し、瀬戸内の農産物と農地を次世代へとつないでいきたい。



江田島柑橘研究会 会長

私たちの園では、約 20 品種の柑橘類を育てています。急斜面での作業やイノシシやカラスの対策など、高齢になってから作業が危なく、大変なことも増えてきました。私たちの農地を活用いただき、農作業を少しでも楽に効率的にできるものがあれば試してみたいです。

他の課題 | 老朽化した資材の確認 / 離れた農地の一括管理 / …